

宮城大学 後援会報

Vol.61

発行日
令和5年9月15日

発行者
〒981-3298
宮城県黒川郡大和町学苑1-1
宮城大学後援会
TEL022(377)8381

編集
宮城大学後援会事務局



教員との歓談

教員との歓談
城大で学びたい気持ち



事業構想 (大和)

『地域に根差した大学として、地域のことを考えるような教育をして行きたい。また、そのような実践を積めるようなカリキュラムになつています。今後大事なことは、自分で考えて分析して課題を見つけていく人材を育成することです。』との学長のあいさつには、身の引き締まる思いをするとともに、宮城大学で学びたい気持ち



食産業 (太白)

新型コロナウイルス感染症が5類になったものの、まだまだ予断を許さない状況での開催となりましたが、コロナ禍以前の形に近い開催ができたことは喜ばしく、関係者の皆様に感謝します。

6月10日(土)に大和キャンパス、6月24日(土)に太白キャンパスにて開催された『MYUサポーターズデイ』は、両日合わせて約170名の参加があり、大盛況となりました。

主催事業 MYUサポーターズデイ

学生生活・教育環境・就活サポートが

見聞きできた日

後援会理事 黒森 陽一

送っていることが伝わってきました。
大和キャンパスで行われた本大学の卒業生でもある高山先生の模擬講義では、学生たちの生きる力を引き出してくれると期待できる楽しい講義でした。



学生や教員の案内でキャンパス内を見学



ナーシングラボ (大和)



温室ハイス (太白)

アンケート結果 印象に残ったことは

- 学生発表で、我が子の学生生活を身近に感じられた
- 卒業生の進路、就職動向について知ることができた
- キャンパスツアーで施設がどのように使われているかわかった
- 先生方に勉強や進路のことを相談できて少し安心することができた
- 学長のお話を聞いて、この大学で良かったと思えた
- 学群企画は「聞きたい・知りたい」内容になっていた
- 先生方の学生を思う気持ちが伝わった
- 歓談では会話が弾んだ



2023MYUサポーターズデイを記録した動画の配信URLは同封書類をご覧ください。

その後、カフェテリアでの先生方との歓談の時間があり、最後にキャンパスツアーで終了しました。
本大学の教育環境や学生の活動・成果を知ることができる機会でも、有意義な日を過ごすことができました。
秋には、講演会も開催しますので、そちらにも是非ご参加ください。お待ちしております。
余談ですが、太白キャンパスのカフェテリアでは、昨年度、学生たちが酒造メーカーと共同開発した日本酒『大学生の純米大吟醸』や母ワイン『愛母(まないちご)』などが販売されていました。早速購入し、自宅で頂いたところ、非常に飲みやすく美味しかったです！

記事一覧

2面 ● 会長あいさつ/役員紹介
3面 ● 学長あいさつ/後援会R4事業報告と決算/後援会R5事業計画と予算

4面 ● 入学式/入学者数/コンパケーションディ
5面 ● 学びの場 データ&メディアcommons
6面 ● コラム/絆

7面 ● 卒業式/学生表彰/進路
8面 ● 教員からの一言/キャンパスカレンダー
お問い合わせ先/編集後記

第14代会長に 大野健一氏

― かけがえのない学生生活を

微力ながら支援したい―

会長 大野 健一

会員の皆さまにおかれましては日頃より宮城大学後援会活動へのご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。また、新たに会員となられた新入学生の父母・保証人の皆さまにおかれましてはご子女のご入学おめでとうございます。

早いもので4月の入学式を終えてからもう半年が過ぎようとしています。例年、入学式終了直後に本後援会の総会を開催していましたが、4月はまだ新型コロナウイルス感染症対策協力要請措置期間であったことから総会は入学式とは時期をずらして開催し、すべての議案の承認をいただいております。

さて、宮城大学後援会は、学生の父母・保証人の皆さまを会員として、宮城大学が開学した一年後の1998年に発足し、今年で25周年となります。学生が大学で学び、有意義なキャンパスライフを過ごしてもらうよう、また、宮城大学の発展と知名度向上に寄与するよう、会員の皆さまから入学時にお預かりしている会費を原資として、サークル活動・大学祭への助成、大学への教育支援や就職支

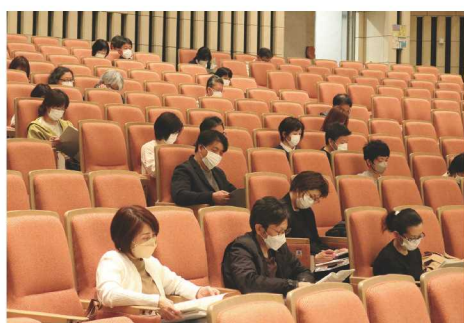
援対策の助成など学生・大学に寄り添った事業を行っております。特に昨年度からはこれまでの資格取得奨励金制度を大幅に見直し、学生が社会に巣立つにあたり有意義な資格取得を奨励するとともに、学生の資質向上を目的に、資格の難易度に応じて奨励金を給付しております。

一方で、一昨年までは新型コロナウイルス感染症対策のため学生活動が制限されたこともあり、後援会も活動を行うことができませんでした。昨年からは「Withコロナ」の中でサークル活動や大学祭なども徐々に再開され、今年5月からは「5類感染症」に移行されたことから、感染に注意しながらもコロナ前のような活動を行っていただきたいと考えております。そして何よりもコロナ禍によって大きく変化した学生生活をコロナ前の水準に戻すことができるよう微力ながら支援して行きたいと考えております。

また、会員の皆さま向けの行事として、6月には大和・太白それぞれのキャンパスにおいて宮城大学の全面的な協力のもと「MYUサポーターズデイ」を開催させていた

できました。会員の皆さまと大学との相互理解を深める機会として、大学キャンパス内の見学の他、教職員の方々からの学修内容や就職状況の説明、学生代表からの学修状況報告、教職員との歓談などを行い、多くの方に参加いただきました。11月には著名人を招いての講演会を開催する予定としており、会員の皆様はもとより、日頃お世話になっている大学近隣の方々等にもご案内して開催したいと考えております。

学生にとって大学で学び、過ごす時間は、かけがえのないものになると思います。宮城大学で専門的な知識や技能を学ぶことはもちろん、これから社会へ羽ばたいていくにあたってたくさんの方の友人をつくり、人間力・コミュニケーションスキルを高められるようお願いしたいは後援会発足以来変わることではありません。会員の皆さまには、今後とも本後援会の活動に積極的にご参加いただき、更なるご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



令和5年度

後援会役員

1年間どうぞよろしく
お願いします

役職 氏名

会長 大野 健一

副会長 遠藤 美千代

副会長 高橋 かおり

副会長 百武 誠二

理事 伊木 良二

理事 石塚 雄一

理事 磯 哲章

理事 遠藤 雄二

理事 尾形 文男

理事 黒森 陽一

理事 小林 英樹

理事 庄子 佳宏

理事 関 孝エ

理事 大坊 友寿

理事 田口 恵

理事 千葉 浩子

理事 長岡 勢子

理事 佐竹 加代子

理事 佐藤 功太郎

理事 高橋 明子

(敬称略)

後援会の皆さんへ —ごあいさつ—

宮城大学学長 佐々木 啓一

皆さん、初めまして。本年4月に学長に就任いたしました佐々木です。後援会には、本学の活動に広くご支援をいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。大野会長はじめ役員の方々には、行事の折りにお目にかかっておりますが、皆さんに広くご挨拶させていただくのは本稿が始めてとなります。宜しく願います。

遍的で素晴らしいものです。私は、これらをより具現化すべく、「地域課題を解決する研究と社会連携」を推進し、もともとと発信を強め、見える化をしていきます。そして、これら実学を基盤として、専門能力とともに「課題探求力と解決力」を併せ待った人材を育成していきます。

今の世の中はVUCAと表現されるように、先の予測が困難な時代です。このようななか、世界の潮流に呼応して、我が国の企業は新たな事業展開を積極的に進めていますし、行政も立ち遅れたDXの推進に必死です。これと連動して、働き方も欧米のようなジョブ型に移行しつつあります。ジョブ型の働き方では、転職も当たり前になります。

そんな状況下で必要とされる能力は何でしょう。スキルや専門知識はもちろんですが、最も活きるのは課題を的確に見出し、それを解決していく能力です。これはどんな業種、コミュニティにおいても共通です。宮城大学の地域フィールドワークを始めとする一連の学びの過程は、課題探求力、解決力を涵養するものです。このような教育をさらに強化しますので、是非、ご期待ください。

宮城大学では、経験と開拓精神を活かして、教育研究、社会貢献の先導役になりたいと思います。本学の理念は、先進的かつ普



＝ご報告＝

令和4年度事業報告と決算報告および令和5年度事業計画と予算は、令和5年4月8日の総会で可決されました

令和5年度 事業計画	
	内 容
総会	4月
理事会	年6回
委員会等	学生代表との意見交換会（キャンパス毎） 会長副会長会議 記念事業検討委員会 学生・大学支援事業検討委員会
学生会活動助成	執行部、新入生歓迎会、サークル、大学祭、ガーデンキャンパス
支援事業	資格取得奨励金支給 進路対策事業支援 留学生住宅総合補償金一部助成
入学記念事業	新入生へ校章ピンバッジを配布
卒業記念事業	卒業生（学群生）へ記念品贈呈 卒業生から大学への寄贈品助成 卒業記念パーティー部費用助成
主催事業	MYUサポーターズデイ（キャンパス毎） 講演会
終身会員の集い	第4回
会報発行	第61号・第62号

令和5年度 一般会計予算			
項 目	決 算 額	備 考	
収入			
会費	18,200,000	会員（入学者）・終身会員	
繰越金	7,523,581		
計	25,723,581		
支出			
事務費	2,920,000	人件費、通信費等	
会議費	550,000	費用弁償費等	
事業費	14,036,000	進路対策費、学生会活動助成等	
入学記念事業費	450,000	入学記念品（校章ピンバッジ）	
卒業記念積立金	2,250,000	卒業生記念品	
記念事業等積立金	2,000,000		
目的積立 R4	2,000,000	学生・大学支援事業積立	
予備費	1,517,581		
計	25,723,581		

令和5年度 特別会計予算			
(卒業記念事業積立金)			
項 目	決 算 額	備 考	
収入			
積立金	2,250,000	入学生450人×5,000円（一般会計より）	
繰越金	8,568,064		
計	10,818,064		
支出			
事業費	2,250,000	学生への記念品 他	
卒業記念事業積立金	8,568,064		
計	10,818,064		
(記念事業等積立金)			
項 目	決 算 額	備 考	
収入			
積立金	2,000,000	一般会計より	
他会計繰入金	2,000,000	学生・大学支援事業積立R4	
繰越金	25,482,646		
計	29,482,646		
支出			
事業費1	16,500,000	25周年記念事業	
事業費2	11,000,000	学生・大学支援事業	
事務費	100,000	終身会員の集い	
記念事業等積立金	1,882,646		
計	29,482,646		

令和4年度 事業報告	
	内 容
総会	4月16日(土)大和キャンパス講堂にて開催
理事会 ^{＊1}	理事会6回
特別委員会など	会長副会長会議 6回 学生との意見交換会（両キャンパス）
学生会活動助成 ^{＊2}	大学祭運営費助成 サークル団体登録費などの助成
支援事業	資格取得奨励金支給 進路対策事業支援 留学生住宅総合補償金一部助成
入学記念事業	新入生へ校章ピンバッジを配付
卒業記念事業	学群の卒業生に浸透印とクオカードを贈呈 卒業生から大学へ電子レンジと空気清浄機を寄贈。その費用を支援
主催事業	MYUサポーターズデイ参加型で開催 桑山紀彦氏地球のステージ公演を開催
終身会員の集い	第3回の集いを開催
会報発行	第59号・第60号

令和4年度 一般会計決算報告			
項 目	予算額	備 考	
収入			
会費	17,900,000	会員・終身会員	
繰越金	7,617,162		
計	25,517,162		
支出			
事務費	2,612,274	人件費、通信費等	
会議費	444,178	費用弁償費等	
事業費	7,280,029	進路対策費等	
入学記念事業費	437,100	校章ピンバッジ	
卒業記念積立金	2,220,000	卒業生記念品	
記念事業等積立金	2,000,000		
目的積立 R3	3,000,000	学生・大学支援積立	
計	17,993,581		

令和4年度 特別会計決算報告			
(卒業記念事業積立金)			
項 目	予算額	備 考	
収入			
積立金	2,220,000	入学生444人×5,000円（一般会計より）	
繰越金	8,451,094		
計	10,671,094		
支出			
事業費	2,103,030	学生への記念品	
卒業記念事業積立金	8,568,064		
計	10,671,094		
(記念事業等積立金)			
項 目	予算額	備 考	
収入			
積立金	2,000,000	一般会計より	
他会計繰入金	3,000,000	学生・大学支援事業積立R3	
繰越金	20,582,196		
計	25,582,196		
支出			
事務費	99,550	終身会員の集い通知費用	
記念事業等積立金	25,482,646		
計	25,582,196		

＊1：新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業の企画・運営を行いました。
＊2：学生会活動については、感染症拡大防止のための活動制限や学内者のみの大学祭で、例年通りの支援が行えませんでした。

令和5年度宮城大学入学式

令和5年4月4日（火）午前、大和キャンパス講堂において、入学式が挙行されました。当日は快晴、祝賀の日にあふれ、今年開花の早かった構内の桜も満開、本部棟入口から見上げる大階段には「ようこそ宮城大学へ」の階段アートも施され、感染症への警戒を解ききることにはできない中にも、ポストコロナの新時代を予感させる華やいだ式となりました。

今年度の入学者数は、学群生446名（看護97、事業構想214、食産業135）、大学院生30名の合計476名、コロナ禍の3年間は二部構成で実施していた入学式は、4年ぶりに新入生全員が一堂に会する形に戻り、同行のご家族には別に設えた講義室の会場に同時中継され、インターネットでも配信されました。

佐々木啓一新学長より、昨年度から始めた新たなカリキュラムの下、不確実で予測困難な時代、社会の変化に柔軟に対応し、解決していく力を身に付け、常に新しいことに挑戦する気概を持った人材となることを目指してほしいとの式辞があり、続いて来賓を代表してのご挨拶では、村井知事と菊地県議会議長からそれぞれに、各分野での先導的役割や地域の将来を担っていく力を養ってほしいとの、期待のこもった激励のお言葉をいただきました。

学群の入学生代表挨拶は、事業構想学群の後藤紗英さんが務め、コロナ禍での制限が緩和され、様々な経験ができると胸を膨らませていること、実りある4年間にしたいとの決意が表明されました。

学務課学生支援グループ



令和5年度 入学記念事業

大学のシンボルマークを模った校章バッジを新入生へ贈りました



令和5年度入学 宮城大学入学者選抜試験実施状況

学 群	募集人員	実質競争倍率	入学者数	入学者詳細				
				性 別		出身校		
				男	女	県内	県外	その他
看 護	95	3.0	97	6	91	59	37	1
事業構想	200	2.4	214	76	138	132	82	0
食 産 業	125	1.5	135	43	92	57	78	0
合 計	420	2.2	446	125	321	248	197	1

※出身校は、卒業高校等所在地で分類（外国人留学生はその他に分類）

令和5年度入学 宮城大学大学院入学者選抜試験実施状況

研 究 科	募集人員	実質競争倍率	入学者数	入学者詳細	
				性 別	
				男	女
看護学研究科博士前期課程	10	1.3	3	1	2
看護学研究科博士後期課程	3	1.0	2	0	2
事業構想学研究科博士前期課程	20	1.0	3	1	2
事業構想学研究科博士後期課程	3	1.0	3	2	1
食産業学研究科博士前期課程	13	1.0	18	5	13
食産業学研究科博士後期課程	3	1.0	1	1	0
合 計	52	1.0	30	10	20

新入生交流事業「コンボケーションデイ」春

ブラインドサッカーを通して、他者と交流し、他者を理解することを学ぶ

令和5年4月15日（土）、宮城大学大和キャンパスを会場に春のコンボケーションデイを実施しました。

コンボケーションデイとは、2つのキャンパス、異なる3学群に所属する新入生が交流する企画です。所属学群の枠を超えて交流することで宮城大学生としての一体感を高めることを目的としており、春と秋の2回実施しています。

今年度はパラスポーツであるブラインドサッカーを通じて、仲間を思いやり支え合うことや、声掛けによるコミュニケーションの重要性を体験する4つのコンテンツを実施しました。

学生の振り返りの結果について、学びや感想の記述からは、他学群の学生と交流できた、視覚障害者について理解できたといった回答が多く、大半の学生が、企画のねらいを理解し、今回の企画が、他者との交流・他者理解に役立ったと振り返っていました。



コンテンツⅠ

実技披露とボールを使ったレクリエーション

プロ選手による迫力ある実技を見学した後、アイマスクを着用し、音のなるボールをグループごとに手渡しするゲームを行いました。



コンテンツⅡ

アイマスクを着用したレクリエーション

アイマスクを着けた状態で、呼びかけなどの耳から入る情報だけを頼りに同じ血液型や誕生日などの仲間を探していくレクリエーションです。



コンテンツⅢ

アイマスクと白杖を使用した歩行訓練

アイマスクを着用し白杖を使用するメンバーを、グループメンバーがサポートしながら、構内に掲示したブラインドサッカーチームのロゴを見つけていくレクリエーションです。



コンテンツⅣ

ブラインドサッカー選手によるレクチャ

コルジャ仙台フィールドプレイヤーである2名の選手による、視覚障害者、晴眼者それぞれの立場からの「ブラインドサッカーの魅力と意義」についてレクチャを行いました。

学務課学生支援グループ

学びの場

データ
&
メディアコモンズ

太白キャンパスに、 新しいコモンズが 出現

宮城大学では、大学改革の一環として平成29年度より学生が主体的に学ぶ空間として大和・太白両キャンパスで各教育分野に則したラーニングコモンズの整備を進めています。

太白キャンパスでは、既に「デイスカバリコモンズ」、「グローバルコモンズ」、「スチューデントコモンズ」の整備が完了しており、「データ&メディアコモンズ」を残すのみとなっています。

太白キャンパスの「データ&メディア

アコモンズ」は、パソコンやICT機器を使用した学びの拠点として、講義棟3階に「デジタルガーデン」、「デジタルラーニング」、「デジタルリサーチ」、「サポートオフィス」のそれぞれ特色のある4つのスペースを設置する計画で、このうち「デジタルガーデン」、「デジタルラーニング」、「サポートオフィス」が今年度完成し、学生に開放されました。

「デジタルガーデン」は、パソコンを使用した卒論作成等の長時間の作業に



デジタルガーデン(全景)



デジタルラーニング



対応するため、サブデイスプレイを備えた個人集中作業スペース、プリントスポットの他、学生が運営するパソコン初心者向けの「PCサポート窓口」や、高度なパソコントラブル等に特化した専門スタッフが常駐する「サポートオフィス」を備え、パソコンを使った学びについて気軽に利用いただけるスペースとなっています。

「デジタルラーニング」は、100名規模の全席にコンセントを備えた「B

YOD(Bring Your Own Device)対応ルーム」として、学

生の自主的な活動によるキャンパス間や大学間でのイベントやセミナー開催等の多彩な用途での活用を見込む他、パソコンを主とした講義・演習等の教育用途での使用も可能な設備を備えています。

また、来年度より開放される「デジタルリサーチ」では、農業や食品等幅広い分野で活用できるハイパスペク

トルカメラ等のICT機器を誰でも利用できる環境を整え、専門機器のリテラシー修得を支援するとともに、学生自らが各専門分野を探究したいと思わせるスペースをコンセプトとして整備する予定です。

近年、食産業分野の現場においてもスマート農業に代表されるようにICT機器の活用が急速に進んでおり、社会から求められる人材としても専門性の高い知識が求められています。

宮城大学では大学の理念として「豊かな人間性」、「高度な専門性」、「確かな実践力」を掲げており、学生たちが各ラーニングコモンズを利用することで、自らが率先して実践的な知識を学び、現代社会に貢献できる人材育成の一助となるよう、環境整備に努めています。

事務局太白事務室



デジタルガーデン(個人集中作業スペース)



デジタルガーデン(PCサポート)



サポートオフィス

M. Wilsonの経験(上)

自己成長と深い理解の旅

基盤教育群教授 マシュー・ウィルソン

私は「異文化を経験したことのない人は、自国の文化を本当には理解してない」という公理を心から信じている。大学卒業と同時に、多くのカナダ人がするように、私も旅を選んだ。グラフィックデザイナーになるためカナダへ帰国する前に、アジアのことを少し知っていたし、アジアをもっと体験しておきたかったため、私は韓国へ行くことにした。その後、教えることが好きになり、25年もの間、アジアで働くことになるとは思ってもみなかった。

韓国の片田舎にある小さな空港に到着すると、英語をほとんど話せない上司が出迎えてくれた。彼女は「Let's go」と言うことができたが、それは私が彼女の車についていくことを意味していた。初日、彼女は「Let's go」と言い、私は彼女の車に乗り、温泉に着いた。背の高い外国人が、200人の好奇心旺盛な韓国男性に囲まれるのは、私にとって本当に不思議な体験だった。2日目、「Let's go」という言葉に導かれるように、私たちは静かで暗い建物に到着した。薄暗い2階のホールを歩くと、上司がドアを開け、40人の高校生がいる明るい部屋に私を押し込んだ。彼女は私に教科書を渡すと、すぐにその場を去った。未経験にもかかわらず、私は授業をすることを期待された。何を教えるかも、どれくらいの時間教えるかも知らされていなかった。

韓国での生活では、このような非日常的な、時には困難な経験をたくさんした。お湯の出ない農家で一人暮らしをし、壁や天井を飛び回る動物や虫の鳴き声を聞きながら孤独な夜を過ごした。カナダでは、魚はほとんど食べなかったし、キムチのようなものも敬遠していた。やがて私は、食べ物や言葉といった文化の側面を愛するようになった。また、教師としても徐々に上達し、私の狭い韓国人への視野を、広げてくれる人々と親しくなった。

これも、私がいつも生徒に伝えようとしていることだ。異文化を学ぶこと、できることなら海外に出ること。英語だけでなく、自分自身がどのように変化し、成長するか、そしてもちろん、自分の出身国の文化について何を学ぶことができるかということ。



韓国に滞在していたころ。車は「テコ」5人乗りの軽自動車

マシュー・ウィルソン
Matthew Wilson

南アフリカ生まれ、カナダ育ち。ヨーク大学美術学部(カナダ)、シェナンドー大学外国語英語教育学部(米国・修士)卒業。2000年に文部科学省外国語指導助手として仙台に着任し、2010年より宮城大学准教授に着任。2017年より現職

絆

No.30

自分の頭で考える力

公立大学法人宮城大学理事長 佐野 好昭

在校生、卒業生、教職員など、さまざまな立場で宮城大学に関わっている方から寄せられた思いでつなぐ「絆」。
30回目は、公立大学法人宮城大学 佐野好昭理事長にご寄稿いただきました。



7月初めに小・中学校時代の有志の同級会がありました。新型コロナウイルスの流行前は毎年集まっていたのですが、それがコロナの影響でできなかったのが、久々に約50年前の話題で盛り上がりました。

「望十里の青海原とまごうばかりの夏の田の面も 秋は黄金のほなみぞよする」これは、私が卒業した田尻町立(現大崎市立)田尻小学校の校歌の一部ですが、私はこの歌詞のとおり田園地帯で育ちました。小学校時代は、学年を越えて集まった子供たちが、里山や川、稲刈りの終わった田んぼで、自分達で色々工夫して遊びました。ゲーム機などはありませんでしたが、楽しい、幸せを感じた思い出がいっぱい残っています。

もちろん、当時は意識していませんでしたが、小・中学校時代の地域環境は私の心を豊かにしてくれた環境であり、私の社会観、人生観の原点になっています。また、同級生は、絆の始まりでした。

さて、ChatGPTに代表される生成AIが話題になっていきます。これからの経済・社会を変える可能性があると同時に、リスクもあると言われています。人間が生成AIに取って代わられるのではないかと心配もされています。

しかし、これまでも、科学技術は常に進歩してきており、私は、必要以上に恐れなくともよいと思います。

当たり前の話ですが、これからの社会の有様をどうするかは、あくまで人間が主体的に考え、判断するものであり、科学技術はあくまで補助的な役割を果たすものと考えます。

平和な社会を目指すのか、世界に紛争

が溢れる社会を容認するのか、豊かな社会とはどういう社会なのか、こういうことに唯一絶対の正解は無く、正に人間が考えていかなければならないことです。一方で、人間は完璧な存在ではなく、過ちもしばしば起こすことは、歴史が示しています。

人間が科学技術の進歩に飲み込まれないようにするためには、自分の頭で考える訓練が必須だと思います。たとえば、今や常識となっているSDGsについても、その根本に立ち返って自分の頭でも一度考えてみると、枕詞のように何でもSDGsと言っているものの実態が見えてくるはずです。

そして、これからの社会がどうあるべきか、自分の人生をどうしたいのか、こういう根本的なことを考え、友人、先輩等と議論できるのが学生時代だと思います。

それぞれ違う環境で育ち、違う経験をしてきた人達が、しがらみに捉われず、損得に関係なく、自分の弱いところもさらけ出して、徹底的に議論できる機会は社会に出るとなかなかありません。また、そういう議論をした仲間が、一生の仲間(絆)になるというおまけもついてきます。

学生の皆さん、勉学で、サークル活動で、その他諸々の学生生活で仲間と共に「自分の頭で考える力」を存分に磨いてください。ご家族の皆様、子供さん方が大学で知識の習得だけでなく人間として成長できるように応援していただきたいと思っています。大学としても、そのための環境整備に全力を尽くして参ります。

令和4年度 宮城大学卒業証書・学位記授与式

令和5年3月20日、令和4年度宮城大学卒業証書・学位記授与式が大和キャンパス講堂にて行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、式典の参加は卒業生・修了生と来賓のみとし、学群・研究科により時間帯を分けた2部構成で実施されました。式典の様子は、来場できないご家族向けに、インターネットで同時配信されました。またAR(拡張現実)卒業記念看板やフォトフレームも活用されました。

例年とは異なる状況の中、学群の卒業生418名を含む、445名が卒業・修了を迎えました。

式辞において、川上伸昭学長より「常に新しいことを学び、能力をアップデートしていくことが不可欠です。大学から旅立つ今日は、生涯続く学びの入り口に立ったものとみななければなりません。生涯を通じた学びがこれからの人生を

切り拓き、豊かな生活をたもたすものです。」とエールが送られ、「宮城大学とのつながりはこれで切れるものではありません。」として、卒業・修了後も大学が寄り添い、必要な時に支援をしていきたいとメッセージが送られました。

学務課学生支援グループ



令和4年度学生表彰

在学中に研究活動、課外活動、社会活動、学業に顕著な成果をおさめた学生が表彰されました。(学年は令和4年度で掲載)

学長賞

一社会活動において、顕著な成果をあげたもの一

- こびつと隊
代表者：笹ヶ瀬 佑佑・佐々木 美空・千葉 菜月実(看護学群 4年)
新型コロナウイルス流行下「こびつと隊」を発足し感染拡大予防に貢献

一研究活動において、顕著な成果をあげたもの一

- 森 大佑(食産業学研究科博士前期課程 1年)
第66回日本応用動物昆虫学会大会において第10回ポスター賞を受賞

学長奨励賞

一研究活動において、顕著な成果をあげたもの一

- 武藤 瑞季(看護学群 4年)
 - 浅田 彩乃(看護学群 4年)
 - 藤村 莉々花(看護学群 4年)
 - 永野 有夢(看護学群 4年)
- 基礎研究の成果をDrug Discoveries & TherapeuticsおよびThe Journal of Veterinary Medical Science等で発表

一課外活動において、顕著な成果をあげたもの一

- AKIU女子会
遠藤 藍花・中谷 日向子・吉野 優花・菊本 みのり(事業構想学群 3年)
 - チームZUUUんだ<匠>
大橋 珠麗・今野 佑樹・高橋 凛・武山 弥琴・舘澤 雅子(事業構想学群 3年)
 - みやぎアイスのプロジェクト：Miyagi Gelato
菅原 茉唯・工藤 朱里・加藤 卓士・天江 拓也(事業構想学群 3年)
 - 池田 綾花・浅野 真慧(事業構想学群 4年)
- 以上、3団体は宮城県制150周年記念事業「宮城の魅力発見！」活動企画 ～学生が創造する活力あふれる明るいみやぎ～の助成事業に選定
- 佐藤 琳(事業構想学群 4年)
Metro Ad Creative Award 2021においてプランニング部門の学生部門賞を受賞
 - 香水サブスクを利用したマッチングアプリ・プロジェクト
武内 彩恵・齋藤 愛果・八田 優彩・渡邊 さくら(事業構想学群 4年)
第17回キャンパスベンチャーグランプリ東北大会において奨励賞を受賞
 - 齋藤 愛果(事業構想学群 4年)
「SPARK! TOHOKU 2022 Startup Pitch」東北地区大会において仙台市長賞およびコープ東北サンネット賞を受賞

一社会活動において、顕著な成果をあげたもの一

- 多賀城センキョ割学生実施委員会
大友 優香・喜藤 実和(事業構想学群 4年)
2022年参議院選挙において「多賀城センキョ割」の活動を実施

一その他の活動において、顕著な成果をあげたもの一

- 発酵化学研究室
青砥 茉優・植田 美羽・海野 美月・小柳 実希・細山 椎菜(食産業学群 4年)
未利用水産資源を活用したサステナブルなお歳暮ギフトを開発・全国販売し宮城大学の知名度向上に寄与

成績優秀者表彰

一学業において、特に顕著な成績を修めたもの一

- 目時 華恋(看護学群 4年)
- 高橋 凛(事業プランニング学群 4年)
- 渡邊 希美(地域創生学群 4年)
- 遠藤 未咲(価値創造デザイン学群 4年)
- 廣林 奈恵(食資源開発学群 4年)
- 山田 桃子(フードマネジメント学群 4年)

令和4年度 卒業記念事業

卒業生へ記念品(浸透印とクオカード)を贈呈いたしました。



卒業生から在學生(大学)に記念品が寄贈されました。後援会はその費用を支援しています。



電子レンジ5台(大和)



空気清浄機2台(太白)

令和4年度 卒業生の進路(主な進路実績)

看護学群

看護学類

●就職先一例(順不同)

東北大学病院、東北医科薬科大学病院、JCHO仙台病院、JCHO仙台南病院、国立病院機構宮城病院、東北労災病院、宮城県立こども病院、宮城県立精神医療センター、東北公済病院、仙台厚生病院、仙台オープン病院、公立黒川病院、宮城県看護協会、宮城厚生協会、西仙台病院、北里大学病院、川崎市立川崎病院、兵庫県災害医療センター、横浜市民病医院、国立がん研究センター東病院、国立病院機構埼玉病院、上尾中央総合病院、太田総合病院、このえ保育園、JA秋田厚生連、湘南厚木病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、東戸塚記念病院、三井記念病院、むつ総合病院、横浜旭中央総合病院、横浜南部病院

〔保健師〕
宮城県、仙台市、角田市、登米市、石巻市、栗原市、白石市、名取市、利府町、川崎市、岩手県〔養護教諭〕

宮城県、福島県、一関修紅高等学校

●進学先一例(順不同)

日本赤十字看護大学大学院看護学研究科、仙台医療センター附属仙台看護助産学校、福島県立医科大学別科助産学専攻、秋田県立衛生看護学院保健科

事業構想学群

事業プランニング学類

●就職先一例(順不同)

(合)DMM.com、(株)NTTデータ東北、NECネットエスアイ(株)、トランスコスモス(株)、(株)アイディア・コミュニケーションズ、オリンパス(株)、トヨタ自動車東日本(株)、東京エレクトロン宮城(株)、(株)パールライズ宮城、キャノンマーケティングジャパン(株)、イオンリテール(株)、(株)スズケン、(株)大創産業、全国健康保険協会、一般財団法人東北電気保安協会、(株)リロードエッジ、財務省東北財務局、仙台市、郡山市、(株)ユアテック、東洋建設(株)、仙建工業(株)、(株)JTB、(株)LAVA International、(株)七十七銀行、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、(株)マクロミル、デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム(株)、東北電力(株)、みやぎ生活協同組合、学校法人東北医科薬科大学、東急リハパル(株)

地域創生学類

●就職先一例(順不同)

国土交通省東北地方整備局、宮城県、宮城県警察本部、仙台市、富谷市、米沢市、カメイ(株)、イオン東北(株)、(株)藤崎、(株)ヨークベニマル、三菱重工エンジンシステム(株)、三菱電機住環境システムズ(株)、(株)七十七銀行、(株)岩手銀行、(株)青森銀行、宮城第一信用金庫、東北労働金庫、日本年金機構、石巻商工会議所、(株)日立ビルシステムビジネスサポート、(株)時事通信社、三菱総研DCS(株)、(株)GSI、みやぎ生活協同組合、JA福島さくら農業協同組合、日本電設工業(株)、セキスイハイム東北(株)、東急リハパル(株)、東北電力(株)、(株)土木管理総合試験所、(株)日本旅行東北

価値創造デザイン学類

●就職先一例(順不同)

富士ソフト(株)、サイバーコム(株)、データコム(株)、(株)メンバーズ、(株)ソルブレイン、(株)ステップ、大和ハウス工業(株)、東建コーポレーション(株)、(株)ユアテック、セキスイハイム東北(株)、東北ミサワホーム(株)、(株)北洲、中央コンサルタンツ(株)、(株)マクロミル、(株)ディーエムエス、アイリスオーヤマ(株)、(株)トーキ、積水ホームテクノ(株)、カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)、(株)エイブル、J東日本東北総合サービス(株)、(株)七十七銀行、(株)岩手銀行、宮城県、東京都、仙台市、国立大学法人東北大学、(株)仙台東進プラザ、(株)ニトリ、(株)第一興商、(株)東急コミュニティー、(株)プライムハウスホールディングス、(株)丸山運送、野口倉庫(株)、全国農業協同組合連合会、(株)ラウンドワン

●進学先一例(順不同)

宮城大学大学院事業構想学研究科

食産業学群

食資源開発学類

●就職先一例(順不同)

UCCコーヒーフロフェッショナル(株)、加藤産業(株)、(株)ケーエス、佐藤(株)、(株)日本アクセス、(株)ヨークベニマル、(株)ヤマザワ、(株)ウェルファムフーズ、(株)菓匠三全、キーコーヒー(株)、(株)全農・キュービー・エツグステーション、日本農業(株)、日本食研ホールディングス(株)、農林水産省、厚生労働省、岩手県、石川県、登米市、独立行政法人農林水産消費安全技術センター、(株)ジェイマックスフノ、(株)シルフィード、日本システム・エイト(株)、(株)サカタのタネ、(株)渡辺探種場、宮城県漁業協同組合、日本年金機構、(株)ピーエス三菱

●進学先一覧(順不同)

宮城大学大学院食産業学研究科、千葉大学大学院園芸学研究科、東京大学大学院農学生命科学研究科、東北大学大学院農学研究科

フードマネジメント学類

●就職先一例(順不同)

伊藤ハムデリー(株)、(株)菓匠三全、白石食品工業(株)、太子食品工業(株)、日東ベスト(株)、日本食研ホールディングス(株)、(株)ブルボン、マリナフーズ(株)、(株)マルハニチロリテールサービス、(株)ヤオイサンフーズ、(株)おてんとさん、(株)高速、国分東北(株)、(株)日本アクセス、(株)パンセ、東日本フード(株)、三井食品(株)、常総ひかり農業協同組合、全国農業協同組合連合会新潟県本部、全国農業協同組合連合会宮城県本部、(株)アレア、一富士フーズサービス(株)、(株)柿安本店、(株)七十七銀行、(株)岩手銀行、(株)東邦銀行、青森県、釧路市、仙台市、(株)SHIF T/ 匠ソリューションズ(株)、一般財団法人日本食品分析センター、宮城県商工会連合会

●進学先一覧(順不同)

宮城大学大学院食産業学研究科、静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府

教員からの一言

「よりよい高齢者のケアを考え 創造する会—Gcomsus」 が発足しました！

看護学群准教授 沢田 淳子



初めて宮城に来たのは2011年5月、震災後のライフラインや交通網が回復した頃でした。1年前から単身赴任だった夫と2011年3月半ばから家族で暮らすため引っ越しの準備をしていた時に震災が起きました。多くの制約の中での引っ越しでしたし、周りには様々な影響を受けた方々が大量にいらっしゃり、この地で震災を経験していないことに申し訳なさがいっぱいでした。それでも縁があって、この時期、この地に来ることになったのだから、この地域にとって何かよいことをしたいという思いはその当時からずっと抱いていました。

今年は宮城に来て11年目。途中2年半中部地方にいましたが、生まれ育った石川県以外で最も長く暮らしている土地になります。宮城県では特別養護老人ホームで働かせていただいたことや宮城大学老年看護学領域での実習先の施設の皆さま、大学院の老人看護専門看護師コース含め、大学院修了生の皆さまとも知り合い、私にとっての高齢者ケアは、この地でのケアが基盤になっています。

そのような地域の高齢者ケア実践者の方々が初期メンバーとなり、2023年8月29日、高齢者のあらゆる場でのコンフォートを目指し、主催者・参加者皆がともに学び合える場を持続的に創造することを目的として、「よりよい高齢者のケアを考え創造する会—Gcomsus」が発足しました。Gcomsusとは、高齢者のcomfortを目指した活動をsustainableに続ける会から命名しています。就業の有無、職種は問わず、高齢者ケアに携わる人、興味のある人が集い、実践報告会、研修会、情報交換会を定期的・継続的に行っていく予定です。学群生にも紹介し、高齢者看護に興味を持つ学生の皆さんが、様々な現場の現状・課題を知り、実践者や当事者と関わり、今後の高齢者ケアの質向上につなげてほしいと思っています。

老年期は、長い人生の最終段階になります。これまでいくら幸福であっても、人生の終盤がづらい状況であった時、人は「あーいい人生だった」といえるのでしょうか？この世に生まれた人の多くが老年期を迎えますが、全ての人が「あーいい人生だった」と自身や周囲への感謝をもって(自我を発達させて)人生を締めくくれることは本当に幸せなことだと思います。そのような人生の締めくくりの場面が一つでも多くなる支援に、この会が繋がったらいいなと願っています。

お知らせ

令和5年度終身会員の集いは、諸事情により開催を見送ります。楽しみにされていた終身会員の皆様、来年度にご期待ください。

編集後記

暑い暑い前期は駆け抜けていった。蒸し暑い6月、何年ぶりだろうMYUサポーターズデイで教員と会員の歓談タイムが復活。7月はオープンキャンパス。教職員や学生スタッフが汗だくで、高校生や保護者をご案内。8月は高校野球に熱い応援。さあ秋には大学祭だ。熱く盛り上がり！

令和5年度MYU キャンパスカレンダー

令和5年

4月

- 4日(火) 入学式
- 8日(土) 後援会総会
- 10日(木) 前期授業開始
- 15日(土) 新入生コンボケーションデイ(春)

5月

- 1日(土) 開学記念日

6月

- 10日(土) 後援会主催事業 MYUサポーターズデイ(大和)
- 24日(土) 後援会主催事業 MYUサポーターズデイ(太白)

7月

- 23日(日) オープンキャンパス(太白)
- 30日(日) オープンキャンパス(大和)

8月

- 8日(火) 夏季休業(大和～9/18、太白～9/24)
- 14日(月) 教職員夏季休暇(～8/18)

9月

- 11日(月) 入試日(大学院一期)
- 15日(金) 卒業式・学位記授与式(9月卒業分)
- 19日(火) 後期授業開始(大和)
- 22日(金) 新入生コンボケーションデイ(秋)
- 25日(月) 後期授業開始(太白)

10月

- 8日(土) 大和キャンパス大学祭 ～10/9
- 15日(日) 入試日(総合型選抜1次)

11月

- 4日(土) 太白キャンパス大学祭 ～11/5
- 11日(土) 入試日(総合型選抜2次～11/12)
- 26日(日) 後援会主催事業 門田隆将氏講演会

12月

- 2日(土) 入試日(帰国子女・社会人・外国人留学生)
- 27日(水) 冬季休業(～1/5)
- 29日(木) 教職員冬季休業(～1/3)

令和6年

1月

- 13日(土) 大学入学共通テスト(～1/14)
- 20日(土) 入試日(大学院二次・二期)

2月

- 4日(日) 入試日(学校推薦型選抜)
- 25日(土) 入試日(一般選抜前期 ～2/26)

3月

- 12日(土) 入試日(一般選抜後期 ～3/13)
- 19日(土) 卒業式・学位記授与式

218名で作上げた大学祭(ユートピア)一般開放一発目の年、必ず成功させます！ Make Your Utopia !! (大和学祭実行委員会)

お祭りならではの料理はもちろん、今流行りのインスタ映えするメニューやユニークな発想をした商品の販売、野菜や果物等も販売する予定です。ぜひ、ご来場ください！！ (太白学祭実行委員会)

会員、大学、地域への文化的貢献を目的に開催します。申込方法は同封のチラシをご覧ください

お問い合わせ先

大和キャンパス
(看護・事業構想)

太白キャンパス
(食産業)

教務関係[カリキュラム・シラバス等]	kyoumu@myu.ac.jp	f-kyoumu@myu.ac.jp
学生生活関係	gakusei@myu.ac.jp	f-kyoumu@myu.ac.jp
キャリア開発室[就職関係]	careerdev@myu.ac.jp	f-career@myu.ac.jp
後援会事務局	myu_kouenkai@myu.ac.jp	

お問い合わせの際は、ご子女の「お名前」「所属学群」「学籍番号」もあわせてお知らせください。